

発行：社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会

問合せ：ボランティア活動振興センター 地域福祉情報バンク

川崎市中原区上小田中6-22-5 川崎市総合福祉センター 6階

電話：044-739-8720 / Email：jyoho@csw-kawasaki.or.jp

2025年秋号の内容は…

- ★「チャレボラ2025」を開催しました！
- ★「聴覚障害」に関する図書・DVDの紹介
- ★川崎市総合防災訓練、電話相談実務者研修、赤い羽根共同募金について
- ★新着図書&DVDの紹介、アンケートご協力へのお願い



「チャレボラ2025」を開催しました！

この夏、川崎市社会福祉協議会では「チャレボラ2025（夏休み福祉・チャレンジボランティア体験学習）」を開催しました。「チャレボラ」とは、地域の福祉やボランティアに関心をもってもらうことを目的に始まり、今年で19年目となります。

子どもや高齢の方・障がいのある方とのふれあい、災害ボランティア体験、地域イベントのお手伝いなど58プログラムに、小学生から大学生までの260名が参加しました。

参加した子どもたちや、活動を見守った保護者の方からの声をご紹介します。



セミのぬけがら調査



わくわくプラザで
子どもたちと交流

子どもたちの声

- 少しでも誰かのためになるような行動をしたいと思うようになりました
- いろいろな人と会うことで、自分の視野が広がりました
- 認知症に対する偏見がなくなり、正しい知識を得ることができました
- 普段できない体験ができて楽しかったです
- 利用者さんとの交流が楽しかったから、来年も参加したいです



高齢者施設で
車いす体験

保護者の方からの声

- 今まで気がつかなかったことに関心が向くようになりました
- 実際に知ることの大切さを学び、自分から行動するようになりました
- 自分にもできることが誰かのためになると知り、自信に繋がったようです
- 祖父母に対して、今までよりもっと優しくなりました



子育て支援センターで
お手伝い&交流

今回のボランティア体験を終えて

今回のボランティア体験では、最初は緊張していた子どもたちも、地域の方や施設利用者の方との交流を通して、楽しく充実した時間を過ごすことができました。「楽しかった！」「またボランティアをしたい！」という感想も多く寄せられています。

これからも福祉をもっと身近に感じ、自分にできることを見つけてもらえらうといいです。

「チャレボラ」は来年も開催予定です。ご参加お待ちしております！



手話体験



災害ボランティア体験
煙体験ハウス



障害のある方と
ボッチャで交流



視覚障がいの方の
外出付き添い





「聴覚障害」に関する図書・DVDの紹介



～地域福祉情報バンクで貸出しています～

聴覚障害のある方々の思いや暮らし、これまでの歴史や社会との関わりを知ることで、聴覚障害についての理解を深めてみませんか？今回ご紹介する図書やDVDでは、手話をはじめとする多様なコミュニケーション手段や、CODA（コード＝聴覚障害のある親を持つ聞こえる子ども）が抱える複雑な感情など、日常生活ではなかなか触れることのできない世界が描かれています。

2025年11月15日～26日には、国際的な聴覚障害者のスポーツ大会「東京2025デフリンピック」が開催されます。ぜひ会場に足を運んでみませんか？



「東京2025デフリンピック」
公式サイトはこちらから →



はるの空 耳の聞こえない私は、 音のない世界をこう捉え、こんな風に生きてきた。

ろう者として生まれた著者が、どのように成長し、言語を獲得してきたのか。耳が聞こえないことを、時には強みに変えて世界と渡り合ってきた。その経験を「私を題材に聴覚障害を理解してほしい」という思いを込めて綴った体当たり半生記です。

（春日晴樹：著／ジアース教育新社／2021年発行）



音のない理髪店

大正時代に生まれ、日本で最初の「ろう理容師」となった祖父の半生を、作家となった孫が小説に描く。

ろうの祖父母とコードの父、そしてコードの娘である自分。3世代にわたり、時を越えて思いがつながる、実話に基づく物語。

（一色さゆり：著／講談社／

2024年発行）



世界に挑む! デフアスリート 聴覚障害とスポーツ

日本を代表するデフアスリート8名のインタビューを収録。ろう者とのコミュニケーションからデフスポーツの歴史、デフアスリートのライフスタイル、観戦ポイントなど、あらゆる角度から魅力を紹介する1冊。

（森埜こみち：著／ペリかん社／2024年発行）



耳がきこえないうさぎ

ウササのユニバーサルスポットをゆく

障害の有無にかかわらず誰もが安心して過ごせる“ユニバーサル”なスポットを訪れ、その体験を描いたコミックエッセイ。

すべての人にとって、心地よく過ごせる空間とは何かを考えるきっかけとなる1冊。

（うささ：著／産業編集センター／2025年発行）



関連図書

●音のない世界でコミュカを磨く

（難聴うさぎ：著／KADOKAWA／2023年発行）

●耳がきこえないママときこえるムスメのおはなし

（うささ：著／白泉社／2023年発行）

●聴こえない母に訊きにいく

（五十嵐大：著／柏書房／2023年発行）

●耳が聞こえなくなったら

（牧野友香子：著／KADOKAWA／2024年発行）

●おひさまとえんぴつ

（羊の目。：著／実業之日本社／2024年発行）



DVD

ぼくが生きてる、ふたつの世界(DVD&文庫版)

耳の聴こえない両親のもとに生まれた著者は、幼い頃から母の“通訳”をする毎日が当たり前だった。しかし成長するにつれ、周囲から特別視されることに戸惑い、苛立ちを感じ、時には母の明るさすら疎ましく思うように…。

聴こえる世界と聴こえない世界の間で揺れながら、東京へと逃げるように移り住み、そこで気づいた本当の幸せとは…？親子の愛と葛藤を描いた感動の実話です。

コードの抱える
複雑な感情とは…



©五十嵐大／幻冬舎

©2024「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会



（五十嵐大：著／幻冬舎／2024年発行）

川崎市総合防災訓練を実施しました



令和7年8月31日（日）川崎市総合防災訓練が、幸区の川崎総合科学高等学校及び多摩川緑地で行われ、川崎市社会福祉協議会（社協）は高校の体育館において災害ボランティアセンター設置訓練を行いました。

災害ボランティアセンターとは、被災後に「助けたい人」と「助けを必要とする人」をつなぐ拠点であり、近年は全国的に社協が中心となって開設しています。当日は、社協や行政職員23名、地域住民15名、事前研修を受けた14名が参加し、「受付→オリエンテーション→マッチング」までの一連の流れをロールプレイ形式で体験しました。

社協の訓練の他、ヘリコプター訓練の見学や降雨体験車などもあり災害時の状況をイメージできる貴重な機会となりました。

今年の夏は異常な暑さが続いたこともあり、日常的な備えに加えて、災害発生時の熱中症リスクなど、暑さ対策の重要性についても改めて考えさせられる訓練となりました。



電話相談実務者研修(基礎編・応用編)を開催します

「聴く力を養う～電話相談の専門性～」をテーマに、電話相談に焦点を当て、職員の対応技術向上を目的とした研修を行います。今年度も、杉山雅宏先生（東京家政大学 人文学部心理カウンセリング学科教授）を講師に迎え、電話相談の役割、対応の基本姿勢、相談員が苦慮しがちな電話への基本対応などについて学びます。

今年度は、多くの方に参加していただけるように基礎編と応用編を開催します。普段の業務に活かせるノウハウを学べる機会です。ぜひご参加ください！

白頭の業務に役立つ！ スキルアップに！

電話相談実務者研修(基礎編)

聴く力を養う
～電話相談の専門性～

令和7年
11月18日(火) 午前9時30分～12時(予定)

川崎市総合福祉センター 6階 研修室 ※集合形式による開催

参加無料

TEL 044-739-8720

- 基礎編…令和7年11月18日（火）09：30～12：00
相談員歴3年未満の方、または本会の電話相談実務者研修を初めて受講される方。
 - 応用編…令和8年3月3日（火）13：30～16：30
相談員歴3年以上の方、かつ本会の電話相談実務者研修を受講済みの方。
- 会場は、川崎市社会福祉協議会 エポックなかはら6階 研修室（予定）です。

問合せ先

地域福祉情報バンク
TEL：044-739-8720
E-MAIL：jyoho@csw-kawasaki.or.jp

お申し込みの詳細は
HPやチラシにて
ご案内します



赤い羽根共同募金は「支える人を支える募金」です！

10月1日より全国一斉に「赤い羽根共同募金」が始まりました。「自分の町を良くするしくみ」として、今年で79年目となるこの募金は、私たちの身近な地域福祉を支えています。

皆様から寄せられた募金は、高齢者や障がいのある方への支援、子どもの居場所づくり、見守り活動、さらには災害時の助け合いなどに役立てられており、地元の様々な問題解決のために頑張っている人たちを応援しています。具体的な取り組みについては、こちらをご覧ください。



今年のコラボピンバッジ



川崎フロンターレ
ふるん太



野毛山動物園
ミナミコアリクイ





新着図書&DVDの紹介

蔵書検索は『ふくみみ』で！
<https://k-fukumimi.com/>



【図書】（書名／著者名／出版社）

- らせんの日々 作家、福祉に出会う／安達茉莉子／ぼくみん出版会
- みえない優しい傘 家族の健康を気にする子どもたちへ、85人と犬1頭からのメッセージ／NPO法人東京ソテリア／現代書館
- 救われてんじゃねえよ／上村裕香／新潮社
- あなたが独りで倒れて困ること30／太田垣章子／ポプラ社
- 介護はじまりました ままならないアラフィフたち／月野まる／主婦の友社
- 認知症の私が、今を楽しく生きる理由／丹野智文／中央法規出版
- しなくていい介護 「引き算」と「手抜き」で乗り切る／巨木瑞穂／朝日新聞出版
- 子どもの人生が変わる放課後時間の使い方／島根太郎／講談社
- マンガでわかる！発達障害とグレーゾーンの人が見ている世界大全／柏淳／文響社
- 発達障害者は〈擬態〉する 抑圧と生存戦略のカモフラージュ／横道誠／明石書店
- 当事者対決！心と体でケンカする／頭木弘樹、横道誠／世界思想社
- これだけは理解しておきたい ボランティアの基礎／久米隼／日本橋出版
- これだけは身につけておきたい ボランティアの実践スキル／久米隼／日本橋出版
- 対人援助の現場で使える ソーシャルワーク技術／水島正浩／翔泳社
- 対人援助職のための自分にやさしくなれるココロ学／大谷佳子／中央法規出版
- 発達障害・「グレーゾーン」の子の不登校大全／本田秀夫／フォレスト出版



- 不登校のあの子に起きていること／高坂康雅／筑摩書房
- スクールカウンセラーという仕事／内田利広、内田純子／青弓社
- 学校に行かなかった僕が、あのころの自分に今なら言えること／石井しこう／大和書房
- ウルトラ図鑑 てんかん／赤松直樹／法研
- それでも、安楽死の話をするのなら／西智弘／晶文社
- 盗んで食べて吐いても／桜井美奈／小学館
- 心理学に基づく質問の技術／大谷佳子／翔泳社
- もしもこの世に対話がなかったら。オープンダイアログ的対話実践を求めて／横道誠／KADOKAWA
- 夫が痴漢で逮捕されました 性犯罪と「加害者家族」／斉藤章佳／朝日新聞出版
- 警備のプロが教える防犯の新常識／倭文浩樹／きずな出版
- 子どもも大人もわかっておきたい いちばんやさしいLGBTQ／清水展人／KADOKAWA
- ありか／瀬尾まいこ／水鈴社



【漫画・コミック】（書名／著者名／出版社）

- ひとりでもしにたい（1）～（10）／カレー沢薫／講談社
- 南海トラフ巨大地震（3）／biki、よしづきくみち／講談社
- 19番目のカルテ 徳重晃の問診（11）／富士屋カツヒト、川下剛史／コアミックス



【DVD】（タイトル／制作／仕様）

- 認知症と生きる/希望の処方箋／2025年問題映画製作委員会／110分
- ぼくが生きてる、ふたつの世界／2024「ぼくが生きてる、ふたつの世界」製作委員会／105分
- つながりを育む 民生委員・児童委員活動／日本福祉大学／38分

アンケートへのご協力をお願いします（実施期間2025年10月1日～2025年12月31日）

「地域福祉情報バンク通信」は、福祉に関する情報を年4回お届けし、今年で17年目を迎えました。今後さらに皆さまに役立つ紙面をつくるため、市社協広報誌「川崎の社会福祉」とあわせてアンケートを実施します。皆さまのご意見が、これからの紙面づくりの大きな力となりますので、ぜひご協力をお願いします。

ご回答いただいた方の中から抽選で50名様にプレゼントをご用意しています。
 アンケートの回答期限は12月31日です。右側の二次元コードを読み取るか、下記URLへアクセスのうえご回答ください。皆さまの声をお聞かせいただければ幸いです。

ご協力よろしくお願いします

広報紙アンケートフォーム URL : <https://x.gd/QP7lr>

